



○ 駅であいさつ運動

七月八日午前八時

過ぎ、雨の降りしきる中、笠松駅前に四人の高校生が、駅正面（タクシー乗り場北）にのぼり旗をもって陣取り、駅を利用する高校生や一般の方々に「お

はよう」と言います。」と声をかけていま

した。声かけに対する反応はさまざま。

無言で通り過ぎる、軽く会釈する、小

声であいさつを返す、「おはよう。御苦

労さん」と声を返すなど。のぼり旗に

は、「MSリーダーズ 活動中」とあり

ます。これは、岐阜工業高等学校のM

Sリーダーズの面々でした。

○ MSリーダーズとは……

岐阜県内の高等学校では、高校生が自ら企画し自発的に取り組む「生徒の生徒による 生徒のための 活動」が

進められています。こうした活動は「MS（マナーズ スピリット）リーダーズ活動」と呼ばれています。警察、教育委員会、学校やボランティア団体などの支援を受け、各学校ごとに推進されています。

○ 岐阜工業高校では……

各クラス代表と生徒会

の役員の約三十名ほどの

生徒がリーダーズに認証

されます。一年を通じて、

交通事故防止活動、地域

でのマナーアップ、環境

美化活動、校門や駅前で

のあいさつ運動に取り組

んでいます。毎年この時

期には二週間にわたり、

駅前朝のあいさつ運動を進めているのです。

響け！笠松駅に あいさつの声



○ 道徳のまち笠松へ

笠松町にある高等学校に学ぶ生徒達

が地域とかかわろうと、校外で活動しています。その姿を地域の一人として心でしっかり受け止め、一声かける。こうした行動が「道徳のまち笠松」の人や風土をつくるのです。

みんながこうした活動に関心を持ちましょう。こうした日常的な取り組みを大切にしよう。こうした日常的な取り組みを大切にしよう。こうした日常的な取り組みを大切にしよう。



笠松駅前でのぼり旗を手にあいさつ運動をする岐阜工業高校MSリーダーズ